

ところ会 3 月行事案内

江戸城三十六見附を歩くーその2（市ヶ谷～新橋）

江戸には三十六の見附があります。今回は前回終わった市ヶ谷から新橋まで、ここで七つの見附を回ります。

記

- 日 時：平成 29 年 3 月 10 日（金）
8:45 池袋行きホーム前方に集合して下さい。
- 見学場所及び時間：コース全長約 7km
所沢駅(8:50)準急...小竹向原乗り換え...有楽町線市ヶ谷駅(9:43)
⇒市ヶ谷門⇒四ツ谷門⇒休憩⇒喰違見附⇒赤坂門⇒日枝神社⇒
昼食⇒虎ノ門⇒休憩 喫茶店⇒幸橋門⇒芝口見附⇒新橋停車場鉄道
歴史展示室⇒JR 新橋駅...池袋經由所沢（予定時間 16:45 頃）
- 昼食：赤坂 川の音 12:00～13:00（居酒屋：事前注文お願いします）
- 交通費（所沢から）：約 1,050 円

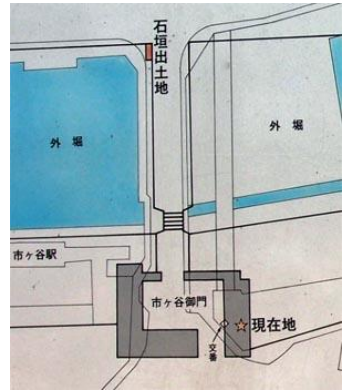


㊦ 北詰橋門 ㊦ 西の丸玄関門(二重橋) ㊦ 中之御門 ㊦ 中雀門

今回は市ヶ谷門からのスタートです。

四ツ谷から先の古地図（外桜田絵図）を添付しましたので、現在の場所と古地図を見比べながら歩きましょう。かつての外堀であった所が今は道路になっている所もあります。

まずは、前回のおさらいから。右図が市ヶ谷門の配置図です。枡形は門から入って右に出る門が多いのですが、ここはちょっとずれますが真っすぐに出て行きます。



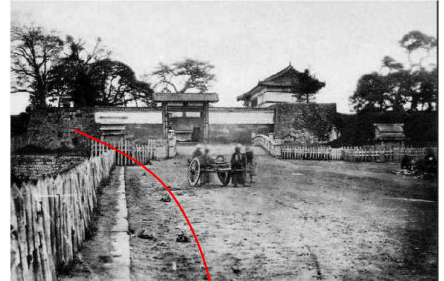
市ヶ谷からは江戸城外堀の内側を歩きましょう。

<⑥四ツ谷門>

四ツ谷見附枡形門の櫓台跡は現在残っている江戸城外郭門の遺構としては最大級の石垣です。その構造は、新四ツ谷見附橋に高麗門を置き、右折する位置に渡櫓を配置した枡形門でした。高麗門の向って左がこの石垣です。

四ツ谷見附は半蔵門から始まる甲州街道が通る重要拠点です。甲州街道は江戸時代には新四ツ谷見附橋を渡りこの石垣の脇を通り枡形を右に出ていました。また、四ツ谷から甲州街道を通過して国府（府中）に通じる道であったところから、半蔵門までの甲州街道の両側は国府路（こうじ）⇒麴町となりました。

今回は行きませんが、丸ノ内線四ツ谷駅銀座方面ホームには「国指定史跡 江戸城外堀跡」と題した説明板があります。



真田濠

四ツ谷駅から新宿側の外堀は埋め立てられ、上智大学の真田堀グラウンドとして利用されています。真田濠は寛永13年（1636）に完成した江戸城外濠延長14kmの中で最も高い地形に位置しています。ゆえに幅90m深さ14m長さ1kmの外堀が江戸城防御の最大の要となります。濠の開削は主に東日本の大名が務めました。真田濠の名が残されているのは、真田信行（幸村の兄）と嫡男の信吉、信教らが定期的な濠の浚渫や玉川上水による水源としての維持管理に取組んだからです。

<⑦喰違見附>

通常江戸城の城門は枡形門と呼ばれる石垣をめぐる物になりますが、ここは土塁を食い違いにさせて城門とした戦国期以来の古い形態の城門構造で、渡櫓門はありませんでした。四ツ谷側の真田濠と赤坂側の弁慶濠では大きな水位差があります。そのため、喰違門は土橋となっていて、四ツ谷方面の水をたくわえていました。



現在は緩やかなS字ですが、かつては直角に曲がっていました。外堀から入った内側には紀伊家、尾張家、井伊家がありました。この辺りの地名はこの名前をとって紀尾井町といいます。また、堀の外は紀伊家の広大な屋敷で、現在は赤坂御用地（東宮御所他）になっています。

この地域は、2つの谷に挟まれた地形に立地するために、寛永13年（1636）の江戸城外郭門建築に先駆けてこのような城門が構築されたものと考えられています。



弁慶橋

神田岩本町の藍染川に弁慶橋を架橋した大工の名棟梁が弁慶小左衛門です。明治22年2月に岩本町の橋を移築して架橋したことで弁慶橋、弁慶濠と名付けられました。



<⑧赤坂門>

赤坂門は大山道の出発地点にあり、寛永13年(1636)二代福岡藩主の黒田忠之(黒田官兵衛の孫)が築きました。赤坂門は城の内側に食い込んだ場所にあり、本来はもっと外側に作る筈ですが、地盤が軟弱なため低地を避けた高台に作りました。そのため、坂を登ったところにある赤坂門は弁慶濠と南側の溜池に挟まれ結果的に攻めにくい門になりました。南の溜池と弁慶濠との水位差を保つため、土橋を築いたので枡形門に付属する橋はありません。



高麗門があった石垣の下部に几号(きごう)水準点があります。漢字の「不」という字に似ている記号が几号(きごう)水準点です。これはイギリス式の水準点のマークで、その後、ドイツ式の測量方式を採用して現行の水準点に代えたため、まさに遺物となってしまいました。



日枝神社

日枝神社には、山の神様「大山咋神(おおやまくいのかみ)」が祀られています。古くは、滋賀県・比叡山のふもとにある日吉大社が、全国に派生したことで創建された神社であったため、比叡山の神様である大山咋神が祀られています。



創建年代は不詳ですが江戸氏が山王宮を祀り、文明 10 年 (1478) 太田道灌が江戸城築城にあたり、川越の無量寿寺 (現在の喜多院・中院) の鎮守である川越日枝神社を勧請したのに始まるといいます。徳川家康が江戸に移封されたとき、城内の紅葉山に遷座し、江戸城の鎮守としました。江戸市民からは「江戸郷の総氏神」「江戸の産神」として崇敬されました。さらに、二代秀忠の時の江戸城大改造の際、城内紅葉山より新たに社地を江戸城外に定め、社殿を新築して遷祀されました。江戸三大祭の一つ、山王祭が行われます。

日枝神社には、狛犬ではなく「猿」が置かれています。猿は、もともと神様と人間のあいだをとりもつ存在「神猿(まさる)」と称されて、昔から敬われる存在でした。大山咋神が山の神ということもあり、同じく山の守り神とも呼ばれる猿が使いとして重宝されていたようです。



<⑨虎ノ門>

江戸時代以前の東海道は桜田通りを通り、虎ノ門から桜田門に通じており、交通の要衝でした。しかし、平地のため防衛には不向きのため堀を曲げて外堀の角に外堀唯一の



櫓を作りました。その石垣が残っています。石垣の上が内側に傾いているのは櫓があったためです。

外堀通りを渡るとこの石垣の延長上に大きな石垣があります。



この石垣の地下に「**史跡 江戸城外堀跡 地下展示室**」があります。地下鉄虎ノ門駅の11番から入り、ここを見学します。



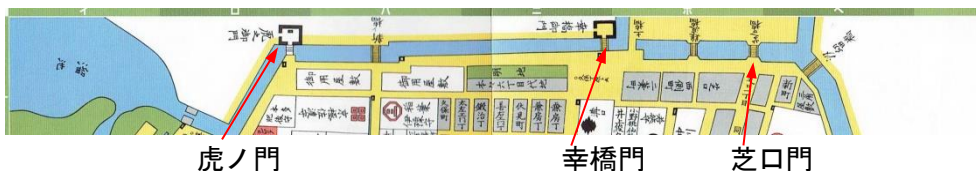
地下鉄の8番出口から出ると虎ノ門の交差点です、そこには虎ノ門碑があります。しかし、実際の虎ノ門は霞が関三丁目交差点のあたりにありました。



ここから、外堀が曲がって行きます。現在の日土地ビルあたりが堀のあった所で、堀の内側だった所を歩いて行きます。



大同生命ビルの植え込みに解説板がありこの界隈の場所がどのように変わって行ったかが示されています。この辺り北側は城内で大名屋敷があった所なので、広い敷地の官庁や企業などがあります。



喫茶店で一休み 大同生命ビルの1階の喫茶店で一休みしましょう。

外堀が曲がっていた所で道路も曲がる

喫茶店を出て交差点を渡り振り返って見ると、道路が少しずれていることがわかります。ここは堀が曲がっていた所です。前ページの古地図と見比べて見て下さい。

日比谷セントラルビルの石垣：隣の三井物産ビルの増築時に発見されたものです。ここにも普請をした大名の符号があります。折敷に三文字の稲葉氏の家紋の様ですね。



<⑩幸橋門>

第一ホテルとJRの高架の間に幸橋門がありました。しかし今は何もありません。新幸橋の交差点からガードを潜った先の新幸橋の碑は明治以降も堀が残り新幸橋が掛けられていたことがわかります。堀はここから二手に分かれ左に行くと山下門がありますが、今回は新橋方面に行きます。



<芝口門>：三六見附には入ってない。

東海道の起点となった門で、宝永7年(1710)朝鮮通信使の来日に備えて、我が国の威光を顕示するために芝口御門が設けられました。幸橋門の下流に架かる芝口橋を渡り冠木門から枡形に入るあたりは、現在の銀座8丁目の中央通りです。汐留川の芝口門に架橋された当初は新橋(あたらしばし)呼ばれていましたが、のちに芝口橋と改称されました。芝口門は15年後の享保9年(1734)に焼失して以来、再建されず石垣も撤去され、芝口橋はもとの新橋の旧称に復しました。この橋が現



在の新橋の地名の発祥の地です。

また、大正14年には汐留川にコンクリートの橋が建てられました。その親柱が高速道路下の中央通りにあります。



芝口御門跡の碑

芝口門跡の碑は御門通りを銀座8丁目の交差点からちょっと行った先にあります。ほぼ堀のあったあたりではないでしょうか。芝口門の先は現在の中央通りということなので、銀座8丁目の交差点に碑を置けないので堀のあった所に碑を建てたと思われます。



新橋停車場鉄道歴史展示室（入場無料）

新橋駅の本物の駅舎は関東大震災により消失し、平成3年から始まった発掘調査で開業時のプラットホームや駅舎の遺構が発見されました。その遺構の



ほぼ真上に、開業直前に撮影された外観写真を手がかりとして忠実に模した駅舎がかぎりなく実際に近い姿でよみがえりました。周囲をひとめぐりすれば、壮麗な建築を楽しみつつ、明治のままの駅舎正面玄関の階段（一部）、プラットホームの遺構といった国指定の史跡にも出会えます。

館内に展示されているのは、駅舎基礎石の遺構と発掘調査の際に出土した品々。改札バサミや荷物札など当時の鉄道員が使った道具など駅を行き交った人々の痕跡があざやかに残ります。

帰路：新橋－池袋－所沢

次回（来年？）は新橋駅からスタートし山下門、数寄屋橋門と内堀を周りしたいと思います。